



# さいせい



発行

濟生会西条病院

2018年秋号 第74号

西条市朔日市269-1  
TEL (0897)55-5100

ととろの森(大分県) 撮影：リハビリ 山野紘和

## ごあいさつ

事務長 矢野 泰利

## 慢性肝炎について

病院長 岡田 眞一

## C型肝炎の抗ウイルス薬

薬局 橋田 教弘

## 慢性肝炎のお食事

栄養科長 越智 泉

## 宇和海合同診療

外科医 伊藤 千尋

検診課 工藤 晃久

## H30年度 院内学会

回復期病棟師長 大類 加澄

## 部署紹介

薬局 橋田 教弘

## 新人紹介

市長が長寿のお祝いに来てくださいました

いしづち苑 大仲佳奈子

地域の皆さまとのふれあいを大切に

西条特別養護老人ホーム 大平理恵子

## ごあいさつ

事務長 矢野 泰利



事務長

矢野 泰利

平成も残すところ半年余り、新たな時代を迎えようとしております。

そこで、新しい元号の発令に伴い、今一度当院のこれまでのあゆみを振り返ってみたいと思います。

当院は、昭和33年に当時の赤松病院（赤松 寛 院長）から寄贈を受け、福祉法人恩賜財団済生会西条病院と改称し、外科病床30床からスタートしました。

その後、昭和55年には110床、昭和61年現在の地に移転の際には150床まで増床し、診療科も脳外科、循環器科、泌尿器科等の診療も開始しました。このためがん診療や高度医療機器の整備及び、二次救急医療を担う医療スタッフの充実、開放型病院の承認を受け地域の医療機関との連携を図ることで、地域医療の質の向上に貢献してきました。

また、医療分野以外にも高齢化社会の到来を予見し、平成5年には老人保健施設いしづち苑の開設、平成27年には、済生会西条特別養護老人ホームの開設など、地域住民の介護・福祉に寄与してきました。

済生会西条病院は、今後も併設の老健施設及び特養の3施設が協同で、地域の人たちが住み慣れた地域で、安心で安全な生活が送れるよう、医療・介護・福祉に貢献してまいりますので、困ったことがあれば何なりとご相談ください。



# 慢性肝炎について

## (ウイルス肝炎検査を受けてください)

病院長 岡田 眞一



肝臓は腸管から吸収された糖質、蛋白質、脂肪などの栄養素の代謝や有害物質の解毒などを行っている大切な臓器です。その肝臓にいろいろな原因で炎症が起こった状態を肝炎と呼びます。炎症とは肝細胞が壊れることです。その炎症が半年以上持続する状態を慢性肝炎と定義されています。わが国では、70%余りがC型肝炎ウイルス、20%弱がB型肝炎ウイルスによるものです。この2つのウイルスによるものをウイルス肝炎といいます。ウイルス肝炎以外には自己免疫性肝炎、アルコール性肝障害、薬物性肝障害、非アルコール性脂肪肝炎などがあります。肝炎が慢性的に継続すると、

肝臓は線維化が進行して肝硬変となります。肝硬変になると、肝不全や肝細胞癌ができるリスクとなります。因みに愛媛県の肝がん死亡者数は全国でもワースト上位に位置しています。

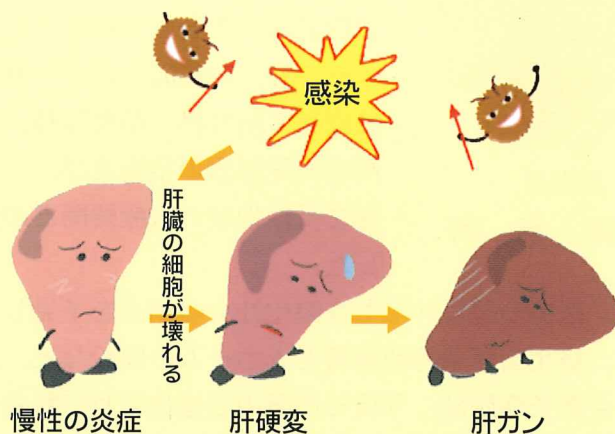
慢性肝炎の大部分を占めるC型肝炎は、1989年にウイルスが同定されC型肝炎ウイルスと名前が付けられました。C型肝炎は、急性肝炎罹患後7割くらいの方が慢性化します。慢性化すると20~30年の長い経過で肝硬変、肝細胞癌へと進展します。過去には、輸血を受けた患者さんに高率に感染していました。最近では、輸血や血液製剤に起因するC型肝炎感染は少なく、刺青、ピアス、針、カミソリなどの共用による不衛生な行為による血液を介した感染が報告されています。C型慢性肝炎の治療の進歩は著しいものがあります。長きにわたりインターフェロン単独治療、その後抗ウイルス薬との併用治療が行われてきましたが、ウイルス排除率はそれほど高くありませんでした。2014年にインターフェロンを使用しない直接作用型抗ウイルス薬が登場してきました。肝炎ウイルスのゲノタイプや腎機能によって薬の選択がされますが、ほとんどウイルスを排除できるようになりました。

C型慢性肝炎の患者さんは、自覚症状は余りないため、まだ多くの未治療の方がおられます。今までにウイルス肝炎検査を受けたことがない方は、一度は血液検査を受けてください。血液を介する感染のため、過去に輸血を受けたことがある、刺青をしたことがある方は特に検査が必要です。愛媛県では保健所でも無料の肝炎ウイルス検査を行うことができます。治療については、医療費の助成制度があります。インターフェロンや最近の直接作用型抗ウイルス薬は、保険治療は認められていますが、薬価が高く、個人負担がとても大きいので、助成を受けると、所得に応じて医療費の上限が月に1~2万円の負担で治療を行うことができます。治療期間は、肝炎の進行度と薬の種類によって異なりますが、8週間あるいは12週間です。ウイルスが消失すると肝炎の進行はなくなり肝細胞癌発症のリスクは低下します。しかし、肝炎の進行状態によって、その後も肝がん発症の危険性は残っているため、定期的に腹部の超音波検査やCT・MRIなどの画像検査を受けるようにしてください。

B型肝炎に対する治療は、現在ペグインターフェロンや核酸アナログ製剤があります。その状態に応じた治療が必要です。

また、最近では生活習慣病関係した脂肪肝に伴う非アルコール性脂肪肝炎も多くなってきました。肥満、糖尿病などの患者さんは気を付ける必要があります。

過去にウイルス肝炎検査を受けたことがない方は、肝炎ウイルス検査を受けてください。異常を指摘されたら、病院で精密検査を受けてください。





## C型肝炎の抗ウイルス薬

薬局 橋田 教弘

C型肝炎はC型肝炎ウイルスの感染が原因で起こります。

治療の目標は、C型肝炎ウイルスを排除することです。そして、肝機能を正常化し、肝硬変の進展や肝がんの発症を防ぐことです。

現在は、かつて治療の中心だったインターフェロンによる治療と比べて、副作用が少ない内服薬が次々と登場しています。

### 使用上の注意点

○抗ウイルス薬は、すべての患者さんに使えるとは限りません。

○服用期間は薬・治療によって8週、12週、16週、24週と異なります。

○併用薬に注意

他の疾患で使用している薬や健康食品が抗ウイルス薬の効果に影響（効果が低下するなど）を与える場合があります。また、腎機能が低下していると使えない抗ウイルス薬もあります。受診時にはお薬手帳を持参し、持病や使用中の薬はすべて医師にお伝えください。

○飲み忘れに注意

お薬の飲み忘れが続くと、血液中の薬の濃度が低下し、C型肝炎ウイルスが再び増える危険性があります。

○医療費助成制度があります

詳細については、各保健所および健康保険組合担当窓口にご確認ください。



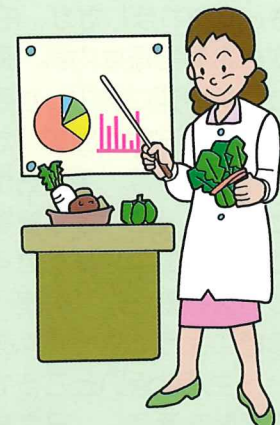
## 慢性肝炎のお食事

栄養科長 越智 泉

- ・ 適正なエネルギーでバランスのとれた食事を心がけましょう。
- ・ 1日3食、規則正しく食べましょう。
- ・ 肥満の方は、減量しましょう。
- ・ 鉄分（レバー・あさり・しじみ・魚・赤身の肉等）の摂り過ぎに注意しましょう。

※鉄制限（1日6mg以下）は、主治医に相談してください。

- ・ アルコールは、控えましょう。





# 宇和海合同診療



外科医 伊藤千尋

この度、平成30年度 第51回宇和海合同診療に参加し、外科スタッフとして乳癌検診を担当させていただきました。

今回は西日本豪雨災害直後であり、現地の様子や検診が行えるのかどうかとても心配していましたが、幸いにも訪れた島々では大きな被害もなく天候が回復し、事務スタッフの皆さんのお陰もあり問題なく検診を実施することができました。

それぞれの島の公民館で、乳癌検診で女性の希望者に触診検査を行いました。普段はマンモグラフィーなどの検査を併用しますが、この検診では検査に頼れず触診のみですので、指先の感覚を頼りに腫瘤（しこり）などの異常がないか診察を行い、五感を精一杯使うということを改めて思い出しました。

乳房の触診は一般的に少し恥ずかしいと感じられる方が多いと思いますので、一緒に診察をしてくれた研修医の先生方と一緒に、「不快感を与えずに検診を受けていただき、次もまた受診してもらえるにはどうしたら良いだろう」と考えながら診察を行いました。研修医の先生方も男女問わず丁寧で親切な診察をされており、それを見て私もまた大変勉強になりました。

現在この検診でマンモグラフィーの検査は行っていないませんが、新しい済生丸にはマンモグラフィーの設備が搭載されております。スタッフや時間の制約などの問題が何とかクリアできれば、この検診でもマンモグラフィーの撮影ができるのではないかと考えられ、今後の課題と感じました。

南予へ向かう道すがら、また宇和海を航行中に見える島々でも所々に崖崩れなど災害の爪痕が見られました。被災をされた方々が一日も早く日常生活に戻れるようお祈り申し上げます。

## 検診課 工藤晃久

今年も5月と7月に行われた、済生丸による宇和海合同診療に西条病院の派遣スタッフとして参加しました。この宇和海合同診療は、愛媛県済生会の主催で宇和海の島嶼部（日振島、竹ヶ島、戸島、嘉島、大島）の島民の検診や診療を行う毎年恒例の合同診療で、愛媛県内の済生会病院（松山病院、今治病院、西条病院）3施設が行っています。

5月に行われた1次の合同診療は血液検査や胃部検査、婦人科検診、検便等の検診が中心で、島民の方がたくさん来られましたが、前もって業務の流れや分担等の打ち合わせもできており順調に業務を行えました。

2次の合同診療は内科、外科、小児科、整形外科、眼科の医師による診療が中心で7月9日から行われました。前の週に発生した西日本豪雨により愛媛県も被害を受け、特に南予では大きな被害が出ていることもあり出発当日まで実施できるのか分かりませんでした。宇和島市からの強い要望もあり決行となりました。訪問した島では特に大きな被害もなく合同診療も順調に実施でき、島民の方々からも感謝の言葉をたくさんいただきました。

いつもは患者さんに病院へ足を運んでいただき医療を提供していますが、合同診療のように島の方々の生活の場にこちらから出て行って検診や診療を行い、生活に近いところで接するという貴重な経験ができました。今後もこの経験を活かし、日常業務に取り組んでいこうと思っています。





# H30年度 院内学会

回復期病棟 師長 大類 加澄

猛暑続きの夏が終わり、秋の風が感じられるようになってきました。くしくも済美高校が14年ぶりのベスト4を決めた平成30年8月18日、西条病院、老健施設いしづち苑、特別養護老人ホーム合同での院内学会が開催されました。患者さんのために職員としても働きやすい職場をめざし、医療のプロとして部署として個人として何に取り組んでいけばよいかを考え実践していくという発表会です。

多職種協働といわれますが、病院では様々な職種、専門家が働いています。医師・看護師・薬剤師には接する機会も多いかと思いますが、リハビリスタッフ・検査・放射線・医療も介護も相談できるソーシャルワーカー、事務部門でも患者さんの窓口である受付をはじめ医療事務・会計・総務・医療秘書・用度、その他施設管理や栄養課など一人一人が病院を支える大切なスタッフです。

今回は26部署の代表が現状と改善点や目標について発表しました。施設での看取り、感染防止することでのリハビリ継続、効率的な情報伝達など内容も患者サービスから医療安全、業務改善など多岐にわたりました。発表後の質疑応答では特に医師からの質問が多く、各部署の取り組みや考え方を知らないいい機会となりました。

今後も住みなれた自宅や地域で安心して暮らせるように、地域の皆様のお役にたてるように頑張っていきたいと思えます。よろしくお祈りします。



# 部署紹介

薬局 橋田 教弘

薬局について紹介します。薬局は薬剤師12名、薬局助手3名で業務を行っています。薬の調剤、薬品の在庫管理、入院患者さんの持ち込み薬やアレルギー歴の確認、抗がん剤を中心とした調整、入院患者さんを中心とした薬に関する説明等を行っています。

現在薬局では、患者さんに安心してお薬を飲んでいただくために以下の3点を重点目標として業務を行っています。

① お薬手帳提出のお願い

窓口でお薬手帳をご持参いただいているかの確認を致します。お薬手帳の利点は、薬の飲み合わせの確認や重複がないかの確認、残薬の確認と調整、緊急時や入退院時に今までの治療の確認、災害時には迅速にお薬をお渡しできる情報として活用できるという点があります。逆に、お薬手帳がない場合の欠点として、入院時に今まで服用していた薬の名称や用法用量がわからず、入院処方時に薬の切り替えの間違いや持参薬の確認が十分にできない可能性があります。したがって、お薬手帳は保険証と一緒に常に身につけ、受診の際には必ず薬局窓口へ提出していただくようお願い申し上げます。薬局窓口へ提出するのはお薬手帳だけで結構です。

② お名前の確認

薬の渡し間違い防止策として、薬をお渡しする際、患者さん自身にお名前を言っていただくようお願いしております。ご面倒ではありますが、ご協力お願い申し上げます。

③ アレルギー歴確認

最近、窓口でアレルギーがあるとおっしゃられた方には薬物アレルギー歴カードをお渡ししております。その際どこで処方されたどんな薬で、いつどのような症状が起きたのか教えて下さい。その情報を記入した薬物アレルギー歴カードによって、当院だけでなく他院でもアレルギーを起こした薬が処方されないように完全に止めるのに役立ちます。最後になりますが、薬のことについて何か気になることがあればご相談下さい。



新人紹介	採用年月日	氏名	部署	職種	趣味	一言
	H30. 8. 17	おかだ けんじ 岡田 憲治	いしづち苑	運転手	旅行、カメラ、鉄道	よろしくお祈りします。
	H30. 8. 1	もりざね こずえ 森實 梢	特別養護老人ホーム	看護師	お買物	たくさんの方に出会い、毎日笑顔で一生懸命頑張ります。よろしくお祈りします。
	H30. 8. 1	つじた さゆみ 辻田 冴美	特別養護老人ホーム	看護師	おいしいものを食べる。買い物	早く慣れるよう頑張ります。よろしくお祈りします。
	H30. 8. 7	ながい みちこ 永井美智子	特別養護老人ホーム	看護師	ドライブ 読書・数独	仕事に慣れるのに時間がかかると思いますが、頑張りたいと思います。よろしくお祈りします。
	H30. 9. 10	たかはし しほ 高橋 志帆	特別養護老人ホーム	看護師	パン作り、 スポーツ観戦	ブランクがあり、不安なことも多々ありますが、新しい環境に早く慣れて、がんばりたいと思います。よろしくお祈りします。



## 市長が長寿のお祝いに来てくださいました

いしづち苑 大 仲 佳奈子

日本には世界でも珍しいとされる敬老の日（休日に制定）があります。敬老の日は、多年にわたり社会に尽くしてきた老人を敬愛し、その長寿をお祝いする趣旨で定められています。

いしづち苑でも敬老の日に向けて職員が様々なイベントの企画を練っていますが、今年は西条市から当市最高齢の入所者さんへ市長が直々に長寿のお祝いに来所したいとの申し出がありました。

9月14日、玉井西条市長から107歳の入所者さんへお祝いの品を頂き、「いつまでも元気でいらっしゃってくださいね」とお言葉をいただくと、入所者さんは笑顔で元気よく「はい」と答えられていました。まだまだお元気なこちらの入所者さんを職員全員でお支えしていきたいと思いました。



## 地域の皆さまとのふれあいを大切に

西条特別養護老人ホーム 大 平 理恵子

猛暑が過ぎ、日増しに秋の深まりを感じる今日この頃、西条特養にはたくさんの地域のボランティアの方々がいらっやっています。8月に行われた毎年恒例の夕涼み会では、妙口原獅子舞保存会の皆さまが力強い演武を披露され、玉津親友会ひまわりの方々も盆踊りを踊ってくださいました。入居者さんたちは大変喜び、音楽に合わせて手拍子をしたりしていました。

また、初の俳句教室も開催いたしました。先生から俳句についての講義を受けた後、参加されていた入居者さんが一句。

「八月や 朝がほに真向い 白きかゆすすり」

先生は早速ホワイトボードに書いて添削し、その句をとて褒めてくださいました。入居者さんは感激され、目に涙を溜められていました。他の参加された方も「俳句は難しいと思っていたけれど、手取り足取り教えてくれたのでよかった」と満足した様子でした。この俳句教室は毎月開催予定で、施設には今後投句箱を作り、入居者さん達からの俳句を募集する予定です。

これからも地域とのつながりや交流を大切にしながら、その支えや温もりを施設の中に取り入れ、生活の質向上に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

